

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフ奏支援教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月6日		～ 2026年 2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年 2月 16日		～ 2026年 2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	調理実習や生活学習(洗濯など)を週1回以上取り入れている。	学校を卒業し、社会に出た時に困らないように、簡単にできる調理方法や、最低限、生活をしていく上で必要なスキルを学んでいる。	栄養士がいるので、栄養を考えた調理実習もおこなっている。
2	スタンプアート等アート系のカリキュラムを取り入れている。	専門家を呼び、様々な技法を学び、自己表現できる場を増やしている。	
3	近隣住民などに協力してもらいながらの行事の実施。	利用児童が近隣住民の方々と触れ合えるように、七夕やハロウィンなど協力して頂いて実施している。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等保護者同士の交流の場が少ない。	時間的制約や心理的ハードル、プライバシーの配慮から交流の場を設定するまでに至っていない。	小規模で参加しやすい保護者交流の機会を設ける。
2	施設や設備の老朽化	子どもたちの成長に応じた環境整備が追い付いていない。	
3			